

社会福祉援助技術演習Ⅰ

~20◆

科目コード●CN3130

担当教員●君島昌志・大橋雅啓・佐々木達雄・齋藤征人・竹田征子
千葉喜久也・芳賀恭司・長谷川千種ほか

2 単位

SR

2 年以上

※平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

※社会福祉士を目指す方々を対象とした講義となります。

※「社会福祉援助技術演習A」と合併授業になります。

科目の内容

社会福祉学は「実践の科学」といわれるように、単なる理論学習だけでは実際の援助活動を行うことは困難といえるでしょう。理論を活用し役立てるためには、援助実践の場に具体化していくための援助技術の学習と体得が不可欠となります。社会福祉援助技術とは、さまざまな技術論を実際の援助活動の中で展開するための方法だといえるでしょう。

本演習では、社会福祉援助技術論における理論や知識を踏まえた上で、特に、倫理・価値観、面接技法などの基本的なソーシャルワーク実践の方法・技術のいくつかを取り上げ、役割演技、グループ討議などを通し、統合的、主体的に学習することを目的としています。

到達目標

- 1) 視点、モデル、アプローチなど社会福祉援助技術の枠組みが説明できる。
- 2) 社会福祉専門職としての「自己」について、客観的な視点から説明できる。
- 3) 社会福祉の価値、倫理について説明できる。
- 4) 言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーションの基礎を身につけ、基本的な面接技術を学習の場で実践できる。
- 5) 相談援助の過程を事例を通し具体的にイメージすることができ、説明できる。
- 6) 相談援助の基盤と専門性について説明できる。

教科書 「社会福祉援助技術演習Ⅱ」でも使用予定

白澤政和・中谷陽明・長谷川匡俊・上野谷加代子編集『社会福祉士相談援助演習（第2版）』中央法規出版、2015年（第2版でなくても可）

（最近の教科書変更時期）2015年3月

在宅学習15のポイント

『レポート課題集 A (社福・精保指定科目編)』『社会福祉援助技術演習 A』参照

レポート課題

※レポートの提出方法は p.35を参照のこと。

1 単位め

(スクーリング事前課題=スクーリング受講申込締切日までに送付)

社会福祉の専門職としてめざすべき社会福祉援助活動のあり方について論じなさい。

2 単位め

(スクーリング事後課題=スクーリング受講後に提出)

「演習 I」のスクーリングを受講しての自身の振り返りを行いながら、社会福祉士として求められるものをまとめなさい。

アドバイス

1単位め
解説

はじめに、教科書『社会福祉士相談援助演習』を熟読し、社会福祉援助技術の課題について問題意識をもってください。次に1章から2章までを読んで、社会福祉援助技術の概要について学ぶとともに、社会福祉援助技術の過去、現在における考え方などを整理して、その違いなどについてもまとめてください。そして、自分自身の歴史、性格、価値観などについても客観的に見つめなおしてください。

以上の過程を経た上で、社会福祉の専門職としてめざすべき社会福祉援助活動のあり方について論じてください。もちろん、他の文献、新聞記事などを活用すること、および社会生活上の問題をとりあげ、考察、分析することも大切なことです。

すでに社会福祉にかかわっている方々は、その経験を生かして論じてくださっても結構です。

以上、課題としてはたいへん幅広いのですが、レポートを作成する際には、自分が意図することを明確に、あるいは視点をはっきりさせて整理することが大切です。

たとえば下記の①～④のなかの1つ、またはいくつかに焦点をあててまとめながら「社会福祉の専門職としてめざすべき社会福祉援助活動のあり方」を考えていただければよいのではないのでしょうか（①～④すべてに解答する必要はありません。また①～④以外の論点から論じていただいて結構です）。

- ① 社会福祉援助技術とは何か、および諸方法を自分なりに整理し、わかりやすくまとめてください。社会福祉援助は、援助を必要とする人々(サービスの利用者)に対して、

問題の解決や軽減を図ることを目的としています。この過程は社会福祉の援助技術を駆使して行われるものです。

- ② 社会福祉援助技術者は、援助を必要とする人々(利用者)にどう向き合い、どのような役割をもってかかわるべきでしょうか。援助を必要とする人々(利用者)主体の援助活動を行うために、あなたはどんなセンス、感性を大事にしようとしていますか。自分自身の歴史、性格、価値観などについても客観的に見つめなおすことも必要になってくるかもしれません。
- ③ 社会福祉援助技術者は専門職として「援助を必要とする人々(利用者)の基本的人権の尊重」「自立・自己決定を重視する援助のあり方」などの基本的な倫理・原理をもつことが必要です。

社会福祉の専門職として、これまでもその専門職倫理が厳しく問われ続けられてきましたが、その倫理観を逸脱する悲しい事件が後を断たない現実があります。福祉の現場のなかのごく一部の人はとはいえ、なぜ援助者が加害者となり、援助を必要とする人々(利用者)の人権を侵害する行為がなくなるのでしょうか。

「人権感覚」という言葉があるように、「この人にはそういうことをしてはいけない」と判断する能力は、人権に関する知識をどれだけ学んだかというだけでは得られるとは限りません。常に新しい知識を身につけながら、自分の人権感覚をいつも研ぎ澄ませておく努力が必要です。あなたの人権に関するセンス・感性について、福祉専門職を目指す者として大事にしてほしいと思います。

- ④ 適切な援助を行うには、援助を必要とする人々(利用者)の理解が重要です。援助を必要とする人々(利用者)自身が社会福祉援助過程で、私たち援助者に対して、どんなことを期待し援助を求めているのかを、援助を必要とする人々(利用者)の視点で考察してください。また、アセスメント(事前評価)とは、何のために、何について、どのようなことをすることででしょうか。そして、アセスメント(事前評価)は社会福祉援助とどのように関連していて、どのような影響を与えているのでしょうか。また、社会福祉援助活動におけるより客観的なアセスメントの普及・発展がもたらす効果についても考察してみてください。

2単位め
解説

利用者の尊厳を守り、利用者主体の原則を実現するための社会福祉士の役割について考えてください。一般論としてだけでなく、演習Ⅰのスクーリングを受講しての自身の体験をふりかえりも含めて、まとめてください。

レポートの提出方法

1・2単位め共通

- ・1課題につき1冊のレポート用紙を使用すること。
- ・字数は2,000字程度（最長4,000字程度）。

1単位めについて

- ・提出締切はスクーリング受講判定日（5/31・6/15・6/30・11/30）必着。
- ・レポート用紙の担当教員名は未記入で提出すること。
- ・返却はスクーリング受講申込締切日から約1カ月後になります。

2単位めについて

- ・提出締切は「演習Ⅱ」を同年9～12月に受講希望する人は9/15（10/15でも可だが、「演習Ⅱ」の受講は10月下旬以降で定員に余裕のある会場のみとなります）、翌年5～6月に受講希望する人は3/15or 4/15。
- ・レポート用紙の担当教員名はスクーリング時の教員名を書くこと。

演習Ⅰ スクーリング受講条件

受講判定日（6～8月開講分：5/31・6/15・6/30、12～1月開講分：11/30）までに

- ①「社会福祉援助技術論Ⅰ」の2単位分のレポート提出
- ②「社会福祉援助技術演習Ⅰ」の1単位めのレポート提出
- ③一括認定単位を除き20単位以上修得

※5/31までに申し込んで、受講条件の達成が6/15や6/30になった場合、受講可能なのは7月中旬以降で定員に余裕のある会場となります。

※7月中旬以降の会場で定員に余裕がある場合、6/30締切で申込を受け付けることがあります。

※「高齢者福祉論」「障害者福祉論」「児童福祉論」「福祉社会学」「福祉法学」「福祉心理学」などのうち数科目の学習を進めるなど、十分事前準備をしてから受講してください。

演習Ⅰ スクーリング申込手続

申込時の注意点

- ・『With』（3月号や9月号頃を予定）巻末の申込ハガキまたは用紙を郵送すること。
- ・必ず第2希望まで○をつけること（第1希望と同一は不可）。
- ・申込後の希望の変更は不可。

各申込日について

- ・5/31締切の申込→6～8月に受講を希望する方がお申込みください。

※受講判定日（5 / 31 or 6 / 15 or 6 / 30）までに受講条件を達成すること（早めに達成した方が希望の会場で受講できる可能性は高くなります）。

・11 / 30 締切の申込 → 12 ~ 1 月に受講を希望する方がお申込みください。

※11 / 30 までに受講条件も達成すること。

スクーリング受講クラスの決定方法

『レポート課題集 A（社福・精保指定科目編）』『社会福祉援助技術演習 A』を参照してください。

スクーリング講義概要

『試験・スクーリング 情報ブック』をご参照ください。

単位認定

『レポート課題集 A（社福・精保指定科目編）』『社会福祉援助技術演習 A』を参照してください。

体験学習

『レポート課題集 A（社福・精保指定科目編）』『社会福祉援助技術演習 A』を参照してください。